

● 必修

—— 前期
- - - 後期
- - - 通年

DP1 人文・社会科学と自然科学に均整のとれた教養及び言語聴覚士としての専門能力を、人類の幸福・福祉のための確に適用できる、人間愛にあふれた人格を備えている

DP2 幅広い教養とコミュニケーション能力を有し、職務遂行に十分な日本語能力、社会性、マナー、倫理観、自己管理能力、医療専門職としての自覚を身につけている

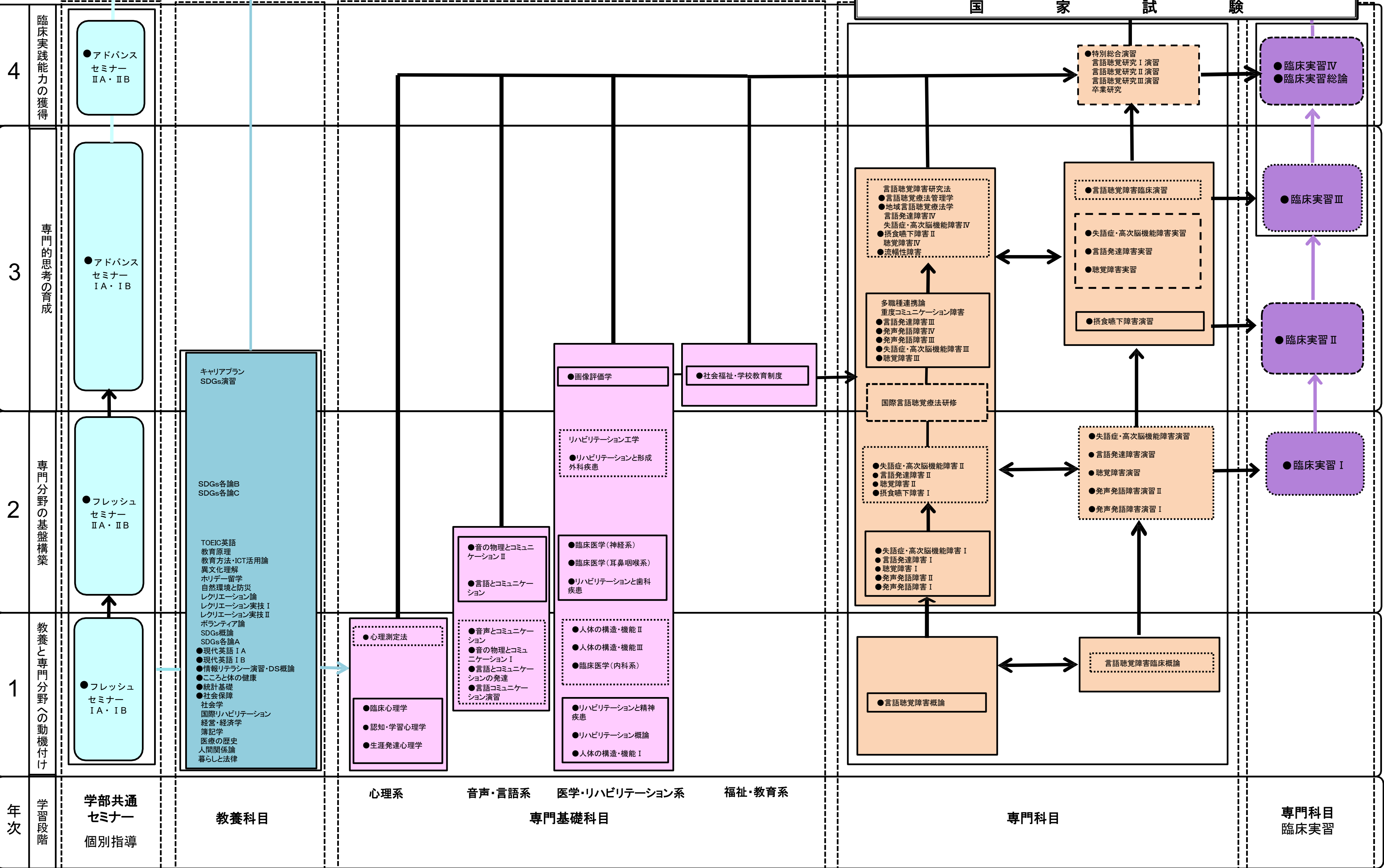
DP3 言語聴覚士の職務について正しく理解し、社会人として自立(律)できる力を有している

DP4 言語聴覚障害学に関する基礎科目ならびに専門科目についての幅広い高度な専門知識と学際的な問題解決能力、創造性を有している

DP5 言語聴覚障害の臨床実践に必要な各種技能(観察、記録、検査、評価・診断、訓練・指導、考察などの能力)を身につけ、それらを臨床実践に応用できる力を有している

DP6 言語聴覚障害分野における課題や問題を深く研究し、地域社会との交流と貢献に努め、成果を国内外へ発信してわが国と世界の持続・発展に尽くす力を有している

国家試験



年次 学習段階
学部共通 セミナー 個別指導
教養科目
専門基礎科目
心理系 音声・言語系 医学・リハビリテーション系 福祉・教育系
専門科目
専門科目 臨床実習

● 必修
—— 前期
- - - 後期
- - - 通年

DP1 人文・社会科学と自然科学に均整のとれた教養及び言語聴覚士としての専門能力を、人類の幸福・福祉のために的確に適用できる、人間愛にあふれた人格を備えている

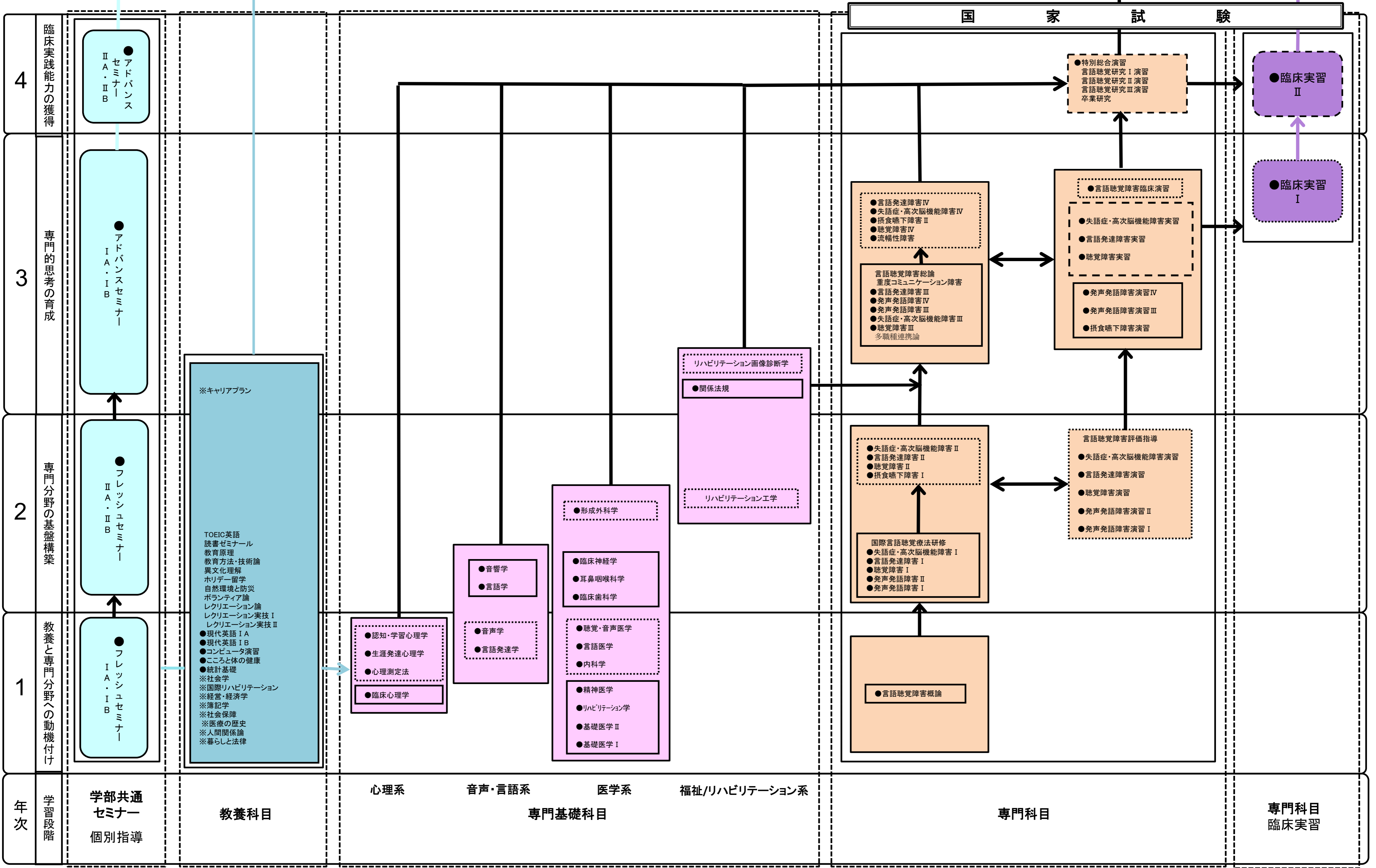
DP2 幅広い教養とコミュニケーション能力を有し、職務遂行に十分な日本語能力、社会性、マナー、倫理観、自己管理能力、医療専門職としての自覚を身につけている

DP3 言語聴覚士の職務について正しく理解し、社会人として自立(律)できる力を有している

DP4 言語聴覚障害学に関する基礎科目ならびに専門科目についての幅広い高度な専門知識と学際的な問題解決能力を備えた創造性を有している

DP5 言語聴覚障害の臨床実践に必要な各種技能(観察、記録、検査、評価・診断、訓練・指導、考察などの能力)を身につけ、それらを臨床実践に応用できる力を有している

DP6 言語聴覚障害分野における課題や問題を深く研究し、地域社会との交流と貢献に努め、成果を国内外へ発信してわが国と世界の持続・発展に尽くす力を有している



国家試験

年次 学習段階 学部共通 セミナー 個別指導 教養科目 専門基礎科目 専門科目 専門科目 臨床実習

—— 前期
----- 後期
- - - - 通年

DP1 言語聴覚士の職務について正しく理解し、社会人として自立(律)できる力を有している

DP2 幅広い教養とコミュニケーション能力を有し、職務遂行に十分な日本語能力、社会性、マナー、倫理観、自己管理能力、医療専門職としての自覚を身につけている

DP3 人間愛に基づき、言語聴覚士として社会に貢献できる力を有している

DP4 言語聴覚障害学に関連する十分な専門基礎知識と専門知識を有し、応用能力と臨床に必要な技能を身につけている

DP5 言語聴覚士の資格を活かし、国内外で活躍できる力を有している

●必修

